

小樽市立潮見台小学校長
若林 晋

1 本年度の重点目標

意欲的の学び合い 認め合い わかる できる子の育成	今年度のキーワード【つづける】
---------------------------	-----------------

2 自己評価結果・学校関係者評価の概要と今後の改善方策

評価項目		具体的な取組	自己評価の結果 (数字は小項目の平均) A=4 B=3 C=2 D=1で評価 平均値2.5	学校関係者評価の結果 (評価委員の意見)
大項目	小項目			
確かな学力の育成	①学習状況の把握と指導の改善 ②基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用力の育成 ③学習意欲の向上と学習習慣の確立 ④特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・実態把握に基づく学習指導の改善 ・個に応じた基礎的・基本的な学習の仕方と指導方法の工夫改善 ・発達段階に応じた学習習慣の確立と自主的な学習態度の育成 ・特別な教育的支援を必要とする子どもへの指導の充実 	①国語科の研究を中心に授業改善を図った。(3.6) ②算数科、指導方法を工夫し習熟度別少人数指導を充実した。(3.7) ③放課後等、補充学習を充実した。(3.7) ④特別な支援を要する児童の情報を共有するため、支援委員会を定期開催できた。(3.5)	<ul style="list-style-type: none"> ・学力で、基礎・基本として音読に力を入れてきたことが読む力の向上につながっている。今後書く力や応用力が更につくよう一層努力してほしい。 ・各種テストへの対策は大切だが学級・学年で向上した点を具体的に伝え、理解してもらうことも必要。
改善方策	○標準学力テストの活用 ○チャレンジテストの活用 ○放課後学習など補充学習の充実 ○言語活動の充実を目指す校内研究の推進 ○家庭学習の工夫 ○校内支援委員会の定期開催、情報共有			
豊かな心の育成	①道徳性の育成 ②読書活動の推進 ③生徒指導の充実 ④体験的な活動の充実 ⑤人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・特別の教科「道徳」の時間を中核とした豊かな心を育む教育の推進 ・読書習慣の育成 ・児童相互の人間関係の円滑化の取組 ・労働と奉仕を尊ぶ精神と実践的態度の育成 ・人権意識の向上を高める教育活動 	①参観日、地域公開参観日等で全学級道徳の授業公開できた。(3.7) ②音読カードを工夫して、読書習慣の育成を図った。(3.7) ③子ども理解支援ツール「ほっと」を全学級で活用した。(3.6) ④勝納川清掃、小樽マリーナ清掃、地域清掃活動に取り組んだ。(3.6) ⑤養護教諭と連携し、いのちの大切さを学ぶ学習を全学級で実施した。(3.7)	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や友人関係、挑戦ややり抜く気持ちが向上している。 ・人権教育の大切さがいわれている昨今、道徳の授業を公開することは有用なことである。
改善方策	○外部人材の活用 ○読書活動の工夫、学校図書館の整備 ○いのちの学習の継続 ○生徒指導の機能を意識した学級経営の推進			
健やかな体の育成	①体力・運動の能力の向上 ②健康教育の充実 ③食育の推進 ④安全教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・実態把握と意欲的に運動に親しむ体育指導の工夫改善 ・基本的生活習慣の定着や性教育・薬物乱用防止教育等 	①新体力テストに全種目全学級で取り組んだ。(3.6) ②生活リズムチェックシートの活用、薬物乱用防止教室の実施できた。	<ul style="list-style-type: none"> ・食育と安全教育は、学校や保護者ばかりではなく、地域としても取り組んでいく必要がある。 ・体力テストで、課題であるシャ

		<ul style="list-style-type: none"> ・食に関する正しい知識と望ましい食習慣の育成 ・生命尊重を基盤とした安全・安心な学校づくり 	<p>(3.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ③栄養教諭と全学級で食育授業を実施した。(3.1) ④計画的に避難訓練を実施した。(3.4) 	<p>トルラン等のレベルアップに取り組んでいるので、継続してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業以外の家庭での運動の習慣化が必要である。
改善方策	○新体力テストの実施による実態把握 ○体育の授業改善 ○家庭との連携強化 ○栄養教諭との連携 ○関係機関の活用、連携			
社会の変化に対応した教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ①ふるさと教育の推進 ②国際理解教育の推進 ③情報教育の推進 ④キャリア教育の推進 ⑤環境教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の環境を生かした学習の推進 ・外国語活動等を通じた国際理解教育の推進 ・情報活用能力の育成と情報モラルに関する学習の推進 ・適切な職業観・勤労観を育てる学習の推進 ・環境に配慮し、行動する力を育てる学習の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ①北方領土学習や松前神楽などふるさと学習を推進した。(3.7) ②外国語活動推進教諭を中心に、小中連携を通じた外国語活動に取り組んだ。(3.7) ③外部講師を招聘し、児童、保護者に情報モラル教室を実施した。(3.4) ④社会科、道徳の学習を通してキャリア教育を推進した。(3.3) ⑤生活科、理科、総合的な学習の時間を通して地域の自然環境に関心を持たせた。(3.5) 	<ul style="list-style-type: none"> ・松前神楽等の地域伝統文化を学ぶ取組や小樽港マリナーや運河等の小樽の特性を生かした体験学習の取組を今後も継続してほしい。
改善方策	○地域素材の整理と教育計画への位置付け ○J T Eの活用 ○継続的な情報モラル教室 ○各教科、キャリア教育の位置付け			
信頼に応える学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ①開かれた学校づくりの推進 ②活力ある学校づくりの推進 ③学校種間の連携・接続の推進 ④教職員の資質・能力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域への情報公開の促進 ・学校評議員制度の積極的な活用 ・地域との連携による活動の充実 ・幼小、小中との「情報連携」「行動連携」の充実 ・研修の充実 ・教育課程を支える経営活動等の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ①地域公開参観日の開催、ホームページでの情報発信、保護者アンケートに実施。(3.7) ②小樽博物館、小樽市図書館、美術館、水族館などと連携して学習を実施した。(3.6) ③幼保との引継の充実、中学校と連携した授業や避難訓練が実施できた。(3.4) ④国語科公開研究会を開催するなど、研修の充実が図られた。(3.5) 	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料館の活用として、地元の老人クラブと交流してはどうか。 ・町内会と保護者、児童が連携できるような地域行事(地域清掃、ラジオ体操)を周知する。
改善方策	○地域、保護者への情報発信の継続 ○幼保中とのさらなる連携 ○研究会の積極的な参加による資質・能力の向上			
公表方法	「学校だより」「ホームページ」により公表			

3 学校改善の実現に向けて必要とする予算、設備、組織面における教育委員会への要望等について

<ul style="list-style-type: none"> ・児童の安全を確保するために、冬期間、通学路の除雪、校地の除排雪の充実をお願いしたい。
